

(令和5年度補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 いちき串木野市 (都道府県: 鹿児島県)  
 本事業の担当部局名 企画政策課

事業メニュー		地域結婚支援重点推進事業				
区分		一般メニュー				
関連事業メニュー		1_1_2 結婚希望者の出会いの機会づくりを目的としたイベント・スキルアップセミナー				
個別事業名		出会い応援プロジェクト・出会いサポート事業・スキルアップセミナー事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続		
実施期間		令和6年4月1日	～	令和7年3月31日	事業開始年度 平成 20 年度	
対象経費支出予定額 ※(注)1		1,500,000			円	
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2		<p>(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題) ※全事業共通                  「第1期いちき串木野市まち・ひと・しごと総合戦略」において、「子育て世代に選ばれ、将来を担う'ひとづくり'」を基本目標のひとつとし、結婚、妊娠、出産、子育ての切れ目ない支援により子どもを産み育てる環境の充実を図ってきた。しかし、婚姻数も経年的に減少傾向にあり、また「合計特殊出生率」並びに「出生数」は県内の他市町村と比較しても低くなっている。この傾向については、出会いの機会が十分でないことや近隣自治体との連携が不十分であること、将来のライフプラン等について考える機会が十分でないことが原因であると考えている。</p> <p>(当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け)                  &lt;当年度の少子化対策の全体像&gt; ※全事業共通                  過年度に引き続き、婚姻数や婚姻率の低下に歯止めをかける策として、出会いの場の創出に関する支援の実施と、若い世代が早い段階から将来、結婚等に考える場の創出として市内3高校向けにライフプランセミナーを実施する。本市において「出会い・結婚」の支援のみならず、若い世代が安心して将来この町で出産・子育てできる環境を整える様々なライフシーン施策を展開する。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt;                  出会いの場の創出、本人のスキルアップのためのセミナー開催を行う。</p> <p>(過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ))                  スキルアップセミナー事業及び出会いサポート事業の開催にあたり、かごしま出会いサポートセンターのイベントシステムを使用し、イベント会員登録することを必須としたが、イベントへの参加は新規の会員より既存の会員の参加が目立ったように思う。イベント会員とは言え、婚活サイトへの登録に抵抗があるという参加者も多く見られたことから、イベント開催において、即婚活に繋がるサイトの運用ではなく、気軽に参加申込みでき、気軽に出会えて恋愛から婚活まで自分の意志で繋げられるよう、本市独自の募集方法で参加を募る。</p>				
個別事業の内容 ※(注)3	番号	項目	内容		ステップアップ	KPI設定
	1	趣味趣向によるマッチングイベント	若者が共通の趣味を通じて、異性と新たな出会いや仲間づくりを目的としたイベントを開催し、出会いのきっかけ作りとなるようなイベントを開催する。(500千円×3回) 様々な趣味趣向があることを踏まえ、各回とも趣味趣向を変えて多くの若年層が興味を抱くようなものとする。イベントをきっかけに婚活への前向きな活動へと繋がる内容とする。		○	○
	2	スキルアップセミナー事業	上記趣味趣向によるマッチングイベント実施事業及び下記出会いサポート事業のイベントと有機的に連携するために、スキルアップセミナーを開催する。(200千円×2回)			○
	3	出会いサポート事業	結婚を希望する独身男女へのマッチングイベントを実施する。市内に在住する団体等に委託して実施する。(250千円×2団体) ※飲食費や体験料等の参加者に還元する費用は、参加費を徴収し充当する。 イベント参加希望者の参加条件として、1・2へのいずれかのイベントに参加していることを条件とし、気軽な出会いから結婚に至るまでを一連に支援し、結婚への機運の醸成を図る。			○
	4	結婚支援センターへの登録促進	カップル成立しなかった方については、かごしま出会いサポートセンターの登録促進を実施し、今後の婚活について支援を行う。		○	○
【次年度以降に向けた事業の方向性】 アンケート結果を活用し、イベント内容やセミナー内容の検討を行い、より効果的に実施されるよう見直しを図る。						
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 無						

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値	現状値	
		結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会と感じている者の割合		%	50	-
参考指標 ※(注)5 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績		
	合計特殊出生率			1.6 (令和2年度)		
	婚姻件数		件	61件 (令和4年度)		
	婚姻率			2.29 (令和4年度)		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値	
	事業内容 番号	項目				
		(アウトプット)				
	1	趣味趣向によるマッチングイベント参加目標人数	人	60	-	
	2	趣味趣向によるマッチングイベント募集定員に対する参加者数	%	70	-	
	3	スキルアップセミナー参加者数	人	60	31	
	4	スキルアップセミナー募集定員に対する参加者数の割合	%	70	62	
	5	出会いサポート事業の参加者数	人	60	30	
	6	出会いサポート事業募集定員に対する参加者数の割合	%	60	50	
	7	かごしま出会いサポートセンター登録数	人	40	-	
	8					
	9					
	10					
		(アウトカム)				
1	セミナー後婚活に対し自信がたった参加者の割合	%	80	60		
2	出会いサポートでの引き合わせ成立者数	組	5	3		
3	出会いサポートセンターへの相談の結果、引き合わせが成立	人	2	-		
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	イベントの周知については、かごしま出会いサポートセンターのHPへ掲載をお願いし、広域的な周知ができるようにする。					
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	イベント企画や運営については、民間アイデアやスキルを活用し、よりマッチング率の高いものとする。					

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、③は記載不要。

①これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題

②当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

③過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和6年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。